



BE THE INSPIRATION

2018-2019 年度 第 1810 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：田中正夫 幹事：磯貝 太 広報委員会リーダー：若林博純

例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ<<水曜 12:30>>

事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内

TEL：028-635-5511（ホテルニューイタヤ）



4 月 第 3 例会

2019 年 4 月 17 日 (水)



会員数 52 名 出席 28 名

司 会 山本 敬三 会場監督 (S. A. A)

● ロータリーソング「我らの生業」

ビジター紹介 川又 俊治 親睦・家族委員長

§ 中山栄基様(大自然株式会社 代表取締役・卓話者)

§ 齋藤恵美子様 (宇都宮陽東 RC)

会長の時間 田中 正夫 会長

皆さんこんにちは。

ロータリークラブの創立者ポールハリスは次のような言葉を残しています。

若かろうと年老いていようとも、人の肩にかかる責務で主なものの一つは、倫理的、精神的、身体的資質を保ち、最大限生かすという責務です。

今日の例会はミネラル研究家でいらっしゃいます、中山栄基様をお迎えして、「自分の体は自分で治せる」のテーマで卓話をいただきます。皆様例外なく年齢を重ねて参ります。自分の体に対する意識を高めることが益々重要な責務となってきます。中山様の卓話を拝聴いたしまして、その責務を全うしてゆきましょう。また、本日は宇都宮陽東ロータリークラブの齋藤恵美子様ようこそお出でくださいました。今日の例会が少しでも多く、皆様のお役に立ちますことを願ひまして会長の挨拶とさせていただきます。

幹事報告 磯貝 太 幹事

§ 宇都宮東ロータリークラブより、夜間例会へのお誘いのご案内が届いております。日程は FAX にて各自ご案内致します。参加ご希望の方は幹事までお申し出ください。

§ レターボックスの配布物をお持ち帰りください。

次年度会長報告 藤島 拓 会長エレクト

§ 本日例会終了後、次年度理事役員会を開催致します。

スマイルボックス委員会報告

長谷川 博夫 委員長

- § 田中正夫会長 中山様、健康への意識が高まるようなお話を期待しております。
- § 藤島 拓副会長 大自然株式会社、中山様、本日の卓話ありがとうございます。
- § 仲田俊夫会員 卓話楽しみにしております。
- § 若林博純会員 いつも体調に不安があるので、今日のお話を楽しみにしておりました。
- § 村上芳弘会員 1か月振りに千葉県でゴルフをしました。足がだいぶ弱っているのを感じました。これからはゴルフを積極的にします。市内10クラブのゴルフは参加しましょう。
- § 喜内敏夫会員 宇都宮大学で4月12日(金)に第1回目の授業を受けてきました。1年間地質学の履修生として3年生と一緒に学んでいきます。
- § 高久和男会員 今日、楽しくスマイルします。
- § 中野智之会員 今日もうげにスマイルします!!

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました 今週の金額 10,000円

招待卓話

大自然 株式会社

代表取締役 中山 栄基 様

「自分の体は自分で治す」

合成化学社会で生じた負の遺産から立ち直る”超野生力”
野生植物マグマが生態系を蘇生する

私は化学物質の人体に及ぼす有害作用の実態をあばく毒物屋稼業に30年近く携わってまいりました。毒物屋とはいいかえれば「病気作り屋」とでも言いましょか、動物に化学物質を与えることで顕著に病気が発症するか否かを研究する仕事で、取り分け発癌に取り組んでまいりました。通常、化学物質を大量に摂取させると、かなりの確率でさまざまな有害作用を生じます。生体にとって化学物質は異物ですから、体内に潜入してくれば、何らかの異常が生じるのは当然のことです。

今、私たち現代人の身近で大きな問題となっているのは、食品や化粧品、そして、医薬品を摂ることによって、多種多様な化学物質が、ごく微量ではあるが長期間にわたって毎日、私たちの体内に侵入し、蓄積されていることです。確実に私たちの体は化学物質による漬物状態にあるのですが、食べてすぐに異常が出る程の量を摂っているのではないので、危険なものではないと思ひ込み、多くの人が安心して使っているのです。

しかし、毒性試験は単一の物質についての試験しか行っていませんから、現代生活で私たちが毎日何十、何百という化学物質の複合摂取に反映した結果を求める試験は当然のことながら行っておりません。それにもかかわらず、国は化学物質個々に対しての許容量という安全ラインを決めて制度化しています。この制度は言い換えれば、どんなに有害作用のあるものでも国が定めた許容量以下なら使用できるとい



うことになるのです。いわば、有害物質の使用にお墨付きを与えているものなのです。

中国で製造された輸入食品の中に鉛や水銀化合物メタミドホスやメラミンなどの有害な化学物質が混入する事件が頻繁に起こっていますが、安易に食品に化学物質を添加しても良いという許可を出していることが、こうした危険いっぱいの化学物質社会へと傾斜した世の中にしていると考えられます。さらに、行政も企業も、そして、消費者さえも許容量以下、あるいはその近辺なら問題ないと考えてしまっていることが、繰り返し同じような事件を生じさせている原因と考えます。しかも、許容量を超える数値を示していても「この程度の濃度では影響がありません」などと、行政の担当者が注釈付きで矛盾だらけの説明を繰り返し、危機意識ゼロでひたすら安全性を強調し、事件の沈静化を図る発言ばかりが目立つ昨今です。しかし、冷静に考えてみてください。現代人に急増している癌や糖尿病、心臓病、脳血管系障害、アトピー性皮膚炎などは、明らかに私たちの体に侵入している無数の化学物質による複合汚染、そして、人工養殖化した食生活に負うところが多いと考えます。

自分たちの身の回りに目を向けてみますと、地球の温暖化、オゾン層の破壊、異常気象、絶滅生物の急増加、環境ホルモン物質などによる生態系の異常などは、これまで地球上に存在しない無生物である化学物質を、人類が文明社会創造の立役者として重用し、あらゆる分野で活用した結果、その副作用が目に見える形で現れてきたものと言えましょう。

地球が誕生したころの無生物時代から、生命が誕生し、それが増え続けた生物進化の時代を経て、ようやく生物に適応した生態系環境が育まれ、生物と無生物が融合した環境を構築してまいりました。ところが、人類の出現によって、この融合環境は瞬く間に化学物質という「化け物」によって蹂躪（じゅうりん）され、今日の人工合成化の状況を作ってしまった。秩序立った製造方法で同じものを大量に作り出せる化学物質によって文明は飛躍的な発展を遂げ、人類は便利で快適な現代生活をエンジョイしてまいりました。ところが、とんでもない落とし穴が私たちを持っていました。秩序立った化学物質が自然界や私たち人間を含む生態系に対して、無秩序に反応しだしたのです。オゾン層の破壊とか、CO2濃度の上昇や、ハリケーン、大型タイフーンの頻発、永久凍土地域の氷解、生殖能力の低下、奇形、性の転換した動物の出現、発癌の増加、絶滅生物の増加など、まさにこれまでの自然界にはない無秩序な予想のつかない状態の出現は、あろうことか秩序立って作られた化学物質の仕業だったのです。

一方、自然界や生態系には一つとして同じのもがないほど無秩序な状態といえるでしょう。しかし、グローバルな目線で自然界の営みをみてください。必ず朝が訪れ、昼があり、夜になり、また朝が来ます。太陽が現れ、そして、月も出ます。季節も変わっていきます。春が訪れると植物が芽吹き、若葉が出ます。動物もいっせいに活動を始めます。梅雨があって、暑い夏の訪れと共に蝉が現れます。秋には生物は冬支度を始め、植物は紅葉します。冬には落葉樹は葉を落とし、寒い冬を静かに迎えます。この現象は毎年繰り返されます。植物は自分の種子を大地に落とし、子孫を作ります。動物も交配し子孫を残します。この現象は生物の誕生以来何十億年という長い年月繰り返し繰り返され続けて来ました。これは、秩序立って起こっている現象です。つまり、自然や生態系は一見同じものがなく無秩序なのですが、行動はまることに秩序立って繰り返されています。ところが、この秩序立った自然が化学物質の出現によって無秩序に暴走し始めているのです。今、これをくい止めなければ地球全体が甚大な打撃を受けることは明白なことです。

私は、この化学物質の暴走に立ち向かうための武器として野生植物選択し、超還元力を有する植物マダマを開発致しました。なぜ、野生植物なのかと言いますと、現代生活で今、最も欠乏しているものは野生です。自然界の生きものを私たち現代人は本当に摂取しなくなり、ひたすら人工養殖化されたものばかりに囲まれた生活をしています。秩序立った化学物質が一見、使い易く便利であることから、後先

考えずに使い始め、とても歯止めが利かない程普及してしまったのが現状です。でも、私たちは生きものです。生きものには生きものがが必要です。

それ故、私は野生植物を無毒化した安全なものの提供をまず考えました。その方法は加熱です。これによって有機毒性は完全に消失します。しかし、熱を加えるという行為は酸化ですから、その酸化を除去することが必要となり、熔融マグマ化しました。その結果、安全な減酸素状態の還元物質植物マグマが誕生しました。この「超野生力」の植物マグマを現代生活全般に上手に活用することで、有害作用をもたらしている化学物質に頼らない生命活動を送ることができると考えております。

この植物マグマをさまざまな分野でご利用いただければと考え、大自然株式会社を創設いたしました。

出席報告 村上 芳弘 委員長

会員数 52名 前々回 4月3日
 出席数 28名 訂正率 64.44%
 欠席数 24名
 出席率 65.16%

例会予定

プログラム

日付	時間	プログラム	例会場
第 1811 回 4月24日(水)	12:30~13:30	招待卓話 うつのみや花火大会 会長 齋藤 芳哲 様	ホテルニューイタヤ